

次々に咲く友情の花

白石市・海老名市 姉妹都市締結10周年



ふるさと豆記者訪問事業
(昨年7月、海老名市立大谷小学校を訪問)

平成6年に、白石市が神奈川県海老名市と姉妹都市の盟約を締結して、今年で10周年を迎えます。

海老名市との交流は、平成3年に友好都市の盟約を締結したことに始まります。以来、両市の親善交流会などが中心となって活発な交流が行われ、年を重ねるごとに両市の友好と理解が深まっています。

今月号では、姉妹都市・海老名市の紹介や交流事業などをお知らせし、併せて、10月に海老名市を訪問する「姉妹都市締結10周年記念親善訪問団」の団員を募集します。



姉妹都市少年野球交流大会
(昨年8月、益岡公園野球場)

■歴史と文化が息づくまち

姉妹都市・海老名市の紹介

神奈川県のはほぼ中央に位置する海老名市は、昭和46年に市制施行。南北にやや長く、平地が多いものの、中央には緩やかな丘陵が縦断。西部は肥沃な土地に恵まれ水田も多く、東部の丘陵地帯は宅地開発が進んでいます。相模平野、市の西部を流れる相模川の景観が美しく、近くに丹沢山塊もあり、自然豊かな環境です。

都心まで1時間足らず、横浜まで30分ほどと交通至便の地で、近年都市近郊の住宅地として都市化が進み、人口はここ20年で2倍以上に増えています。奈良時代には相模国の国分寺・国分尼寺が建立された由緒ある地で、江戸時代は交通の要路・宿場町として栄え、伝統芸能も数多く受け継がれています。

国指定史跡・相模国分寺跡
当時、高さ65mの七重塔が所在していたと推定されています。



海老名市最大のイベント
「えびなふるさとまつり」



海老名市の特産物
いちご、メロン、花き、地酒、吟味豚(豚肉のみそ漬)など



市制施行50周年記念式典の際に海老名市から贈られたバラの花



面積	26.48㎡
人口	122,971人
世帯数	46,810世帯

(平成16年6月1日現在)



ピナウォーク

小田急小田原線・相模鉄道線の海老名駅周辺には、大型店やホテルなどの商業施設が多数立地。平成14年には、大型店・複合映画館を核として約130店舗の専門店が集まる巨大複合型商業施設「ピナウォーク」もオープンしています。

■白石市と海老名市

姉妹都市交流の歩み

平成3年、友好都市として交流が始まりました

平成3年3月、海老名市から白石市と友好交流をしたいとの申し出がありました。その理由は、海老名市に本社がある企業の工場があるなど、民間交流がある。観光地として海老名市と対照的な魅力がある。白石城跡を持つ白石市と相模国分寺跡がある海老名市とは、歴史的環境が似通っている。とのことでした。

交流の輪が広がり、姉妹都市締結へ。その後、両市の交流会などが中心となり、スポーツ交流や物産展開催、ソフトテニス協会による交流試合や文化協会の交流美術展開催など、相次いで交流がスタート。活発な交流の経過に基づき、両市がより一層の友好と理解を深め、相携えて発展することを念願して、平成6年10月23日、白石市の市制施行40周年記念式典で、両市はより絆の深い「姉妹都市」の盟約を締結しました。

■地域特性の違う両市が学び合っています

海老名市との交流事業

少年野球交流

小学生の少年野球選抜選手が年2回、相互訪問しています。交流試合のほか、お互いの家庭でのホームステイなどで友情を深めています。

今年の交流大会は、白石市では8月20日から22日、海老名市では10月9日から11日の日程で開催されます。なお、今年には姉妹都市締結10周年を記念して、女子選手による選抜チームも結成され、交流試合を行います。

姉妹都市国際親善水泳大会

海老名市をはじめ、姉妹都市の小中学生が参加して、毎年スパッシュランドで開催しています。今年も9月19日に開催予定です。

ふるさと豆記者訪問事業
小学生の代表が、相互に訪問しています。地域や学校のことを紹介し合い、名刺交換や交流会を通じて友情をはぐくんでいます。今年も7月に海老名市の児童4名が福岡小を訪問します。

ふるさとのまちを語る交流事業
白石市の代表が、相互訪問しています。お互いの地域や学校の紹介、弁論発表などを行い、理解と友情を深めています。今年も、10月に南中・小原中の生徒代表が海老名市を訪問します。



姉妹都市盟約調印式(平成6年10月23日)

白石市・海老名市姉妹都市締結10周年記念親善訪問団員を募集します

「海老名・白石親善交流会」など、昨年3つの姉妹都市交流組織が合流してできた「白石市姉妹友好都市交流協会」では、海老名市との姉妹都市締結10周年を記念して、親善訪問団員を募集します。

ぜひ、この機会に海老名市を訪問してみませんか?

訪問期間 10月8日(金)~9日(土) 1泊2日

訪問内容 姉妹都市締結10周年祝賀会参加、海老名・鎌倉市内観光

募集人数 30名

旅行代金 1人 27,000円

(白石市姉妹友好都市交流協会の会員は1人25,000円)

応募期間 7月8日(木)~8月6日(金)

申し込み・問い合わせ先

交流協会事務局(市総務課内) ☎22-1331

白石市姉妹友好都市交流協会の会員も募集しています

年会費 1人 2,000円

申し込み・問い合わせは、交流協会事務局まで。



白石市民文化祭に出品された海老名市民作品
両市の文化協会では、絵画などの相互作品交流を行っています

急激な都市化を遂げている海老名市と自然豊かな東北の城下町・白石市。対照的な両市ですが、歴史や文化をとても大切にしているという共通点も持っています。お互いの特性を理解しながら学び合うことは、親善の深まりとともに、より広い視野で自分や白石を考えることにもつながります。交流事業に参加した児童たちも、「海老名のみんなと仲良くなれてよかった。これからますます仲良しになりたい」と、感想文に書いてくれました。両市の交流がさらに深まることを期待しています。



白石市農業祭の海老名市物産展
農業祭や海老名市の「ふるさとまつり」などでお互いに物産展を開催しています

このほか、小学生の絵画交流、ソフトテニス協会の相互訪問、姉妹都市訪問ツアーの実施など、活発に交流が行われています。平成7年には、大規模災害時に助け合う「災害時における相互援助に関する協定」も締結しています。